

「日独交流 150 周年」

2011 年は 1861 年日本とドイツ（当時の北プロイセン）との間で修好通商条約が調印されて 150 年になり多くの記念行事が予定されています。また、全国 56 の日独協会もそれぞれ計画しているようです。湘南日独協会も日独の音楽家による記念のコンサートを開催すべく活動を開始致しました。予定日は 2011 年 2 月 14 日会場は鎌倉芸術館です。ご期待頂くと同時に皆様のご協力をお願い致します。（織田会長）

2010 全国日独協会連合会年次総会

4 月 12 日東京のゲーテインスティトゥート・ヤーパンを会場に、来賓として Dr. Volker Stanzel 駐日ドイツ大使を迎え開催され、当協会からは織田会長理事 5 名が出席しました。

午前の総会では、古森連合会会長を議長として全体会議が行われました。

テーマの中心は 2011 年 4 月奈良で開催予定の日独交流 150 年記念行事の一環としての、日独パートナー会議、さらにそれに関わりドイツから訪日される多くの旅行者への対応でした。また、各日独協会への記念行事開催への要望も強くありました。

記念事業は 2010 年 10 月より 2011 年 9 月と 1 年間にわたって日独政府ベース、国内の日独協会ベースさらにドイツの独日協会ベースと様々な催し物が計画されています。

午後は各地の日独協会から活動状況等の報告がありました。当協会は織田会長より、記念行事としてのコンサート（上記会長メッセージ）の計画、来湘予定のワイマールおよびブレーメン日独協会の対応について報告を行いました。具体的には早急に詰めて会員の皆様のご協力ご支援をお願いしたいと考えています。

各日独協会の活動報告の中に、若い世代への取り組みとして、学生への働きかけ、少年サッカークラブの相互遠征、地元のドイツ関連歴史の発掘、喫茶店を利用してのドイツサロンの運営、ホテルや市民会館と提携してのドイツフェスト、地元のドイツ企業との交流等がありました。どの協会も会員・仲間を増やすことに工夫し活動しています。当協会も新たな取り組みを考えなければならないと感じました。

湘南日独協会の活動予定

■第 69 回例会

日時 5 月 23 日(日) 13:30 ~ 16:00

講師 吉森 賢氏 横浜国大大学院名誉教授

「ドイツ現代史の側面ー BMW の経営戦略」

世界的名声を博すドイツ自動車企業の創業、破綻、発展までの歴史を画像と映像で辿る。

会場 江ノ電ビル 7 階 湘南アカデミア

会費 1,000 円

■6 月会員懇話会

日時 6 月 26 日(土) 18:00 ~ 20:00

講師 西山 忠壬氏

「日本酒の話」

当協会の理事であり日本酒道連盟代表幹事の講師から日本酒に纏わるお話を伺いまた楽しみましょう。

会場 江ノ電第 2 ビル 7 階 湘南アカデミア

会費 1,000 円

なお、終了後引き続き実地研修会を近隣で行う予定です。会費は 3,500 円前後の見込み。

■第 70 回例会

日時 7 月 25 日(日) 13:30 ~ 16:00

講師 佐藤 剛志氏 イリス顧問

「イリス商会の歴史」

昨年横浜美術館で開催された「イリス 150 周年ー近代日本と共に歩み続ける或るドイツ商社の歴史」展や現在話題の日本の幕末からの関わり合いをお話頂く予定です。

会場 江ノ電第 2 ビル 7 階 湘南アカデミア

会費 1,000 円

■8 月会員懇話会

日時 8 月 28 日(土) 18:00 ~ 20:00

講師 西澤 英男氏 当協会理事ヨーロッパ歴史研究家

「神聖ローマ帝国＝ドイツの歴史を知るキーワードの一つ」

フランクフルト、アーヘン、ミュンスター、レーゲンスブルク、ウィーンなどを気の向くままに歩き回り、この得体の知れない国、神聖ローマ帝国を色々な視点で探ってみました。(講演者談)

(1 頁の活動予定の続き)

会場 江ノ電第2ビル7階 湘南アカデミア
会費 1,000 円

■ 71 回月例会

日時 9月12日 (日) 13:30 ~ 16:00

講師 昔農 英夫氏 東京大学大学院特任研究員

「バイオ燃料は地球を救うか？」

最近石油に代わる燃料として脚光を浴びるバイオ燃料についてドイツの事情も交えて映像を見ながらのお話です。

会場 江ノ電第2ビル7階 湘南アカデミア

会費 1,000 円

2010 年オクトーバーフェスト

日時 2010 年10月3日 (日) 午後6:30 ~ 8:30

会場 グランドホテル湘南 (桜桃ルーム)

昨年までとは会場が異なります

会場がホテルとなり、演奏家も新しい組み合わせの予定です。ビールにワイン、ドイツ料理も楽しみです。

6 月頃には詳しいお知らせをいたします。ご家族、ご友人をお誘いの上どうぞ多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

お客様は神様です？日本の体験

Einkaufen in Japan ist meist ein angenehmes Erlebnis. Der Kunde wird mit lautem Hallo begrüßt und willkommen geheissen, er wird hofiert und umschmeichelt, die Kaufentscheidung löst Danksagungen und Verbeugungen aus. Zur Sicherheit werden an der Kasse noch einmal alle Unklarheiten beseitigt: Dies ist ein Hemd, und Sie wollen es wirklich kaufen? Beim Erstehen mehrerer Artikel werden die Preise einzeln laut und klar angesagt. Das Geld wird wie eine Opfergabe mit offenen Handflächen demutsvoll entgegengenommen, das Rausgeld bekommt man direkt vor die Nase aufgefaechert, jeder Schein wird nochmal einzeln mit dem Finger angeschnippt.

上の独文は K. D. Kunzmann のブログからの引用しました。近く出版の運びと筆者から連絡がありました。3 年程東京に駐在し昨年ドイツへ帰国、再来日を希望しているようです。

(<http://klausintokyo.blogspot.com>)

映画「菩提樹」を観て

会員 上原 勲

湘南日独協会で、映画『菩提樹』、『続・菩提樹』の2本を観る機会に恵まれました。ご存知、オーストリーのトラップ ファミリーの物語です。

最初の「菩提樹」は有名なサウンド・オブ・ミュージックの映画とほぼ同じストーリーです。続編は一家がドイツのナチの手を逃れて亡命したアメリカでの苦闘の物語です。サウンド・オブ・ミュージックは今までに5~6回は観ており、歌の数々は憶えたものです。

映画の主人公は一見、元見習い修道女であったマリアのようですが、どうして元軍人で一家の主のトラップ大佐と美しい歌声の7人の子供たちもそれぞれ重要な主人公です。

実は小生は青年時代にドイツ語の映画で『野ばら』を観たことがあります。ウィーン少年合唱団の映画でしたが、それ以後、Roeslein auf der Heiden の歌をドイツ語で憶えました。今回はアムゼル合唱団で練習している「菩提樹」が歌われると思われたのでそれは楽しみでした。それにしても子供たちの澄んだ歌声の美しさには改めて打たれました。この歌声は「ぜひ私の孫たちにも聞かせてあげたい」ものでした。

印象的なのは『続・菩提樹』で、アメリカ移民局で受入れ許可を不安気に待つ人々の中で子供たちが歌い、その美しい歌声に人々が心奪われ元気付けられる場面です。さらにニューヨークの汚い安アパートで一家が食いつめていた時、子供たちが外で歌いだした歌声の美しさに酔っ払いの兵士や近所の人々が喜んで聞きほれた場面。いずれも曲の素晴らしさもさりながら、歌声とハーモニーの美しさに人々は力づけられたのです。これらの場面を見て私は、音楽や歌は神さまから人間に賜った大きなプレゼントだと思いました。

私は学生時代にウィーン少年合唱団の演奏会に行ったことがあります。オーストリーの歌曲はもとより日本の『さくら、さくら』まで歌いましたが、『ウィーンの森の物語』の曲になると俄然目を輝かせ、まるで「私たちが愛し、誇る街の歌を聴いてくれ」と言わんばかりに嬉しそうに歌っていた様子をありありと思い出しました。ドイツやオーストリーの美しい歌は日本でも沢山知られています。スイスにはヨーデル曲もあります。ヨーデルはちょっと無理ですが、小生もせっかくアムゼル合唱団に加えていただいたのですから、今年はいっと多くの曲をものにして多くの人々に聴いて頂き、生きる喜びを感じて頂けるように団員の方々と共にがんばりたいと思いました。(了)

編集後記

試みに、Kunzmann 氏のブログから独文を掲載してみました。これからは理事の寺田さんが留学されますので、ベルリン便り(仮題)なども予定しています。 a. o.

★★ 湘南日独協会のホームページは ★★

URL : <http://jdg-shonan.ciao.jp/index.html>

「全国日独協会一覧」からもアクセスできます。